

# Mランドニュース Vol.172

## 丹波ささ山校 令和3年8月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県丹波篠山市池上569

TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940

発行責任者 井本 徹

<https://www.sasayama-ds.com/>

E-mail info@sasayama-ds.com

### 今月の言葉

人間が謙虚になるための、手近な、そして着実な道は、まず紙屑を拾うことから。

森 信三先生

### 顔晴る人



おなじ目標に向かって

その内、二十名の方はペトナムやバングラデシュ国籍のゲストで、日本で自動車関係のお仕事に就かれる予定の方々です。

学科教習に使用される映像には、ペトナム語を含む数か国の字幕はあるものの、基本教習に関わる言語はすべて日本語です。

この日は、神戸市長田区の阪神自動車航空鉄道専門学校様から、合計二十四名のゲストが入所され、約二週間の運転免許取得に取り組れます。

営業チーム 中野 聰

七月十七日、梅雨明けとともに、Mランドにも熱い夏がやってきました。

この日は、神戸市長田区

仮に、私たちが言葉の通じない他国で免許取得をしようとする、どれだけの努力が必要とするでしょう。

遠い母国から親元を離れ、将来の夢に向かって一所懸命にがんばっている、そんな彼らを少しでも応援しようと、空き時間を利用して「勉強会」を実施しています。



「分からぬところ、ありませんか」と、永井専務

皆さんは仲間意識も強く、日本語の長けているゲストが、お友だちの力となり、お互に助け合っているお姿は、私たちも見習わなければなりません。

「運転免許を取得する」ということは、私たちが想像する以上に大変なことです。彼らはもとより、すべてのゲストの顔晴りにお応えできるよう、今後もサポートさせていただきます。

目的はゲストにとって、更によい教習にするためであり、インストラクター間の教習に対する考え方や、指導方法について、二班に分かれて意見交換をしました。

そこで、「命の大切さ」、「事故防止」の観点から、これまで行なってきた二輪教習に甘んじることなく、一から見直そと、お互いにゲスト役とインストラクター役に分かれ、実技研修を実施しました。

個々に異なる特性を持つゲストに、限られた時間の中

共育チーム 南勝 宏幸

「日本一のあの山に登ろう」と、富士登山をしたことがある「七月一日」は、Mランドにとってナンバー1の日。

今年は二日間にわたり、「インストラクター研修」を行いました。

午後からは二輪インストラクターの研修です。

近年、全国的なバイク人気とともに、二輪事故が急増しているこの現状、私たち自動車教習所が担う役割は、非常に大きなものと感じています。



一人ひとりの発言に耳を傾けて

受けける側のゲストにとってどのような教習であるべきか、じっくり意見交換できた貴重な時間となりました。

目的はただ一つ。「命」を大切にしていただくためであり、その上で「バイク」という世界を楽しんでいただくためです。

ます。

### 【掃除に学ぶ会】のご案内

私たちと一緒にゴミ拾いをしましょう。

8/8(日) 八上小学校周辺  
AM8:00~9:00 担当:前川

8/29(日) 篠山中学校周辺  
AM8:00~9:00 担当:中野

※当日はMランド集合です。(雨天中止)  
ご参加いただける方は井本までご連絡ください。



「安全」であること。これが第一

## そうじの力

一班リーダー 後藤茂

毎朝、「ゲストに美しい環境を」と、コツコツと会社磨きを続けています。

七月十六日、各班の画像による進捗状況や問題点、

今後の予定を共有することを目的とした、リーダーミーティングを行いました。

「楽しく」が基本の活動は、社員間のコミュニケーションと、異変に気付く力を養います。

班ごとにアイデアを出し合い取り組んでいるようす

は、他の班にとっても刺激になるもので、おのずと活発な意見や質問が出できます。



自慢の取り組み「ポイントはここ！」



見る見る内に汚れが落ちていきます

がんばっている五つの班の中から、今回はそうじの力一班の活動内容をご紹介します。

磨いたあとはムラの無いよう、丁寧にワックスを施していきます。

このタイル磨きから気付かされたことがあります。それはロビーのタイルが汚れずに、きれいな状態のままで保たれているということです。

それまでは飲み物がこぼれた跡や、ゴミが落ちていることもチラホラありました

が、以前に比べ格段に減つており、きれいな環境は人の心

や行動まで変化させることを実感しました。

## 一班の活動エリアは本館一階ロビーです。

ここは初めてお越しになるゲストをお迎えするところであり、使用頻度も高く床の輝きも数か月程度。頃合いを続けています。

一班の恒例になっています。

まずは極力ゲストに迷惑をかけしないよう、机や椅子を撤去。次に床のワックスを剥離剤とともにボリッシャーで磨き上げます。

以前は腰がフラフラ。見て定感たるや「これならインストラクター以外でも、仕事ができるぞ！」と、班員から

やはり経験はず。その安

定感たるや「これならインス

トラクター以外でも、仕事

ができるぞ！」と、班員から

絶賛の声もあがりました。



我ながら、仕上がりは感動ものでした



輝きがもどりました！

そうじの力 小早祥一郎氏  
より、モノを見る姿勢や視点を変えることの大切さもご指導いただいたことから、

日頃、目の届かないところにも、目配り気配りを怠らないよう意識しております。

その内の一つに、ゲストが使用されている長机があります。悲しいかな、裏側にガムを張り付けてあることがあります。

同球団を応援されています。

七月六日、この日のソフト

バンクとの試合は、「日本農業遺産認定記念 丹波篠山市 黒豆ナイター」として開催されました。

普段の姿勢や視点ではなくなか気づかない場所でした

が、「丹波篠山」と、日本遺産である「デカンショ節」の紹介もされ、球場の素晴らしい音響設備の中、デカン

ショ踊りの披露。始球式ではMランク卒業生である、杉本りんご様が、ノーバウンドで見事投球されました。

試合前には、酒井隆明市長が「丹波篠山」と、日本遺産でもある「デカンショ節」の紹介もされ、球場の素晴らしさをPRされました。



「え～、ここにも！」

これまでの姿勢や視点ではなくなか気づかない場所でした

が、この活動を通し、あらゆるところにも意識が向けられることは、私たちの財産と思っております。



酒井市長と杉本さん（丹波篠山市提供）

## 黒豆ナイター

営業チーム 中野聰

「少しでも多く」。誰しも損得勘定を持っていますが、私が

留めおく心得の一つに、株式会社タニサケ 松岡浩会長著「満堂に春を生ず」より、今月は表題の一文を紹介いたします。

同様に故小河二郎前会長は、「人の役に立つことを、折に触れて言わっていました。（徹）

自分の強い人は、周りにあまりいい影響を与えない。自分のことより、人を喜ばせていく生き方がよいのです。

同様に故小河二郎前会長は、「人の役に立つことを、折に触れて言わっていました。（徹）